

時代を超越して今なお聴き手に感動を与える 魔力を秘めたコンパクトスピーカー

柳沢功力

ハーウッドが設立。彼はBBCでモニター機の開発に携わっていて、中でもポリプロピレン振動板の開発に手腕を発揮した。したがってハーベスの製品も当然それらの技術を背景にしたもので、1号機はBBCモニターのLS3/7によく似た、モニターHLだった。似ているのはスタイルやユニット構成だけでなく、サウンドも清楚でかつ気品に満ちたBBCモニター系そのものだった。

ハーウッド時代の同社からはあと一機種、モニターMLも誕生するが、製品は10年間でこの2機種のみ（モニターHLの改良機はカウントせず）。そして87年、会社はハーウッドの人柄とハーベス製品の音に魅せられた若いエンジニア、アラン・シヨウに受け継がれることになる。このアラン・シヨウによる第1作がほかならぬHLコンパクトで、モデル名が示すようにハーウッドのモニターHLと同じ、ポリプロピレンの20cm口径ウーファーを搭載し、エンクロージャーはネーミングどおりコンパクトにまとめた。ただしトワイターは従来からのソフトドームではなく、新しいハードドームとしたモデ

ルだった。すなわちそれはハーウッドの業績に対する賛歌とともに、新生ハーベスの心意気が進められている、きわめて思い入れの強い製品だったわけだ。

オリジナルHLコンパクトを大幅改善したコンパクト7が各国で大喝采を博す

このHLコンパクトの登場によって、ハーベスに新たな輝きが加わった。もちろん再生の基調は伝統あるブリティッシュサウンドで、それはBBCモニターにも共通する清楚さと気品。加えて、しっかりとウェットな艶やかさや柔軟さ。暖かい木質の響き。好ましい陰影を湛えながらの、うねるような音のつながり等々、クラシックを中心にしたアコースティックな音楽にとっては、欠かせないポイントを巧みに押さえたものだ。そして新しいHL

コンパクトは、さらにそこに、これまでにない瑞々しい鮮度感と、機敏な音の粒立ちを添えていた。

そして94年、ウーファー振動板の製法を一新することで、BBCモニター系の弱点と言われてきた中低域の曖昧さや、大人力時の音崩れなどを圧倒的に改善し登場したのが、HLコンパクト7である。各国で大喝采を博すことになったこのスピーカーにより、アラン・シヨウは女王陛下から勲章を授かったと聞いた。

あのころがBBCモニター系スピーカーの頂点だった。ハーベスのみならず同系の各社が、その後、余勢をかってより現代的モニター機に向かったのが意外にも落とし穴だった。性能は評価されても、音

の個性が乏しくなったとファンが離れていく。ことに小型機の場合、ユーザーはロック系を好む若い人達を中心になることから、もっと鋭敏な音の立ち上がりや切れ込みのよさを聴かせる、縦割りの音のスピーカーがその間隙を埋める結果になった。そしてわが国ではハーベスにも休眠状態の時代が訪れたのである。

久々に聴いたコンパクト7は、前記のようにES2型になっていたが、おそらくこれは、ごく小さな設計変更に違いない、聴かせた音はまぎれもなく往年のコンパクト7のものだ。そしてわれわれも、いつの間にか縦割りの音に慣らされていたのか、今となつては少し控え目な古さもあるが、それが何とも優雅で暖かく、縦割りの音とはまったく異なる滑らかな抑揚と、節度ある熱気を漲らせている。

しかも驚かされ、かつ嬉しかったのは、当時のコンパクト7の音を知らない世代の人達が、その再生を純粹に新鮮なサウンドとして受け止め、感動を惜しまなかったことだ。一つの時代の頂点を極めた製品の、一種の魔力のようなものだ。しかもこのスピーカーには、単にBBCモニター系という枠を超える、アラン・シヨウの思い入れの強さが生んだ特別な何かがある。オーディオの世界には、ときとして時代を超越して生きつづける製品があるが、コンパクト7は不死鳥のように蘇えり、その仲間入りを果たしたのではないだろうか。



1987年に発表されたHL Compact。1994年にHL Compact 7が登場するまでの約7年にわたり現役をつづけ大ヒットしたモデルだ。ハーウッド時代のMonitor HLやMonitor MLにはソフトドーム型トワイターが搭載されていたのに対し、アラン・シヨウの第1作であるHL Compactではアルミドーム型トワイターが初採用された。キャビネットの形状・サイズはその後のHL Compact 7および同ES2でも継承されているが、木の響きを活かしつつ共振のコントロールなどに新しいアイデアが盛り込まれた新仕様に変更された。

HARBETH HL Compact 7 ES2



●型式:2ウェイ2スピーカー・バスレフ型●使用ユニット:ウーファー・20cmコーン型、トゥイーター・2.5cmドーム型●クロスオーバー周波数:3kHz●インピーダンス:8Ω●感度:86dB/W/m●寸法/重量:W271×H520×D315mm/12.5kg●問合せ先:エムプラス コンセプト ☎045(845)7639

LOUDSPEAKER

ハーベス

HL Compact 7 ES2

¥290,000(ペア)

去年の夏、本誌147号の新製品欄で、久々にハーベスのスピーカーを聴いた。製品はモニター30とHLコンパクト7 ES2の2モデルだが、そのコンパクト7が懐かしかった。久々とは6〜7年ぶりとの意味で、実はコンパクト7もすでにデイスコンになっているのでは、といった認識だった。この認識がお粗末なのは事実だが、でも日本のマーケットを見るかぎり、最近の数年はコンパクト7はおろか、ハーベス製品はほとんど見ることが無かったのだから、お粗末な認識も仕方のないことと言える。

それが新製品欄に登場というのも、かつてのモデルが「HLコンパクト7」だったのに対し、今回「ES2」型にマイナーチェンジされたからとのことだった。「そうだったのか、デイスコンではなかったのか」と、古い友人に出会ったような気分を聴いた。だが、デイスコンではなかったとなると、オリジナルのコンパクト7が94年発売だから、すでに10年を超えるロングラン機だ。いや、コンパクト7の前身で87年のHLコンパクトをオリジナルとすれば、実に17年目を迎えたロングラン機になるのである。

ハーベスについては今さら説明の必要も……いや、日本では何年も休眠状態だったのだから必要なのか。ご存じの方が多いと思うが、70年代後期のイギリスに生まれた会社で、当時、BBC(英国放送協会)技術研究所のチーフだったタドリ